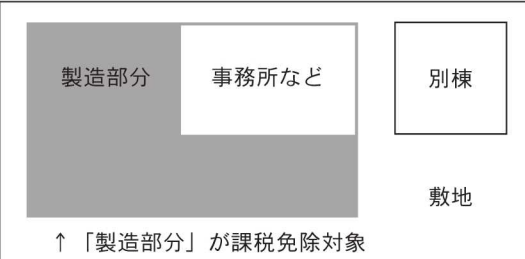
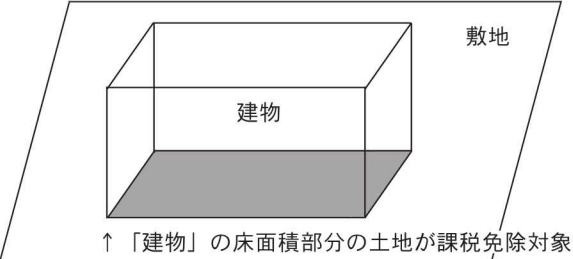


## 産業振興に係る固定資産税の課税を免除します

与謝野町内において、過疎地域の産業振興を図るため、令和3年4月1日以降に一定の事業用資産を取得した特定の事業所・法人の固定資産税を最大3年間免除します。過疎地域における固定資産税の課税免除申請の対象は、免除申請前に「産業振興機械等の取得に係る確認申請」によって、「与謝野町過疎地域持続的発展市町村計画※」に記載された業種に属し、与謝野町の産業の振興に寄与、適合することが確認された固定資産が課税免除対象になります。

対象事業	製造業、農林水産物等販売業、旅館業（下宿業は除く）、情報サービス業等（インターネットサービス業、通信販売、市場調査等）	
対象資産	土地	直接事業の用に供する部分のみ ※ 土地の取得後1年以内に対象家屋を建設（着手）した場合に限る
	家屋	「建物」のうち、直接事業の用に供する部分
	償却資産	「建物附属設備」「構築物」「機械および装置」のうち、直接事業の用に供するもの
要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 青色申告をしている個人または法人であること</li> <li>■ 償却資産においては租税特別措置法第12条第3項、または第45条第2項に規定する特別償却の適用を受けることができる設備の取得等であること</li> <li>■ 産業振興機械等の取得等に係る確認申請書を取得済みであること</li> <li>■ 取得価額の合計額が500万円以上であること ※ 製造業、旅館業については、資本金5,000万円超の場合は取得価額が1,000万円以上、資本金1億円超の場合は取得価額が2,000万円以上であり、新增設に係る取得等に限る</li> </ul>	
家屋（建物） ※ 製造業の場合		土地 ※ 製造業の場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造に関係のない部分は対象外</li> </ul> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業用に供されている家屋の垂直投影部に限る</li> </ul> 
課税免除の適用期間	課税免除を行った年度から最大3ヵ年	
課税免除の申請期間	事業の用に供した日の翌年の1月31日まで	
問い合わせ先・申請先	産業振興機械等の取得等に係る確認申請に関すること 商工振興課 ☎43-9012 過疎地域における固定資産税の課税免除申請に関すること 税務課 ☎43-9020	

### ※ 与謝野町過疎地域持続的発展市町村計画

令和3年4月、過疎地域振興のための法律「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が制定され、与謝野町が過疎地域に指定されました。過疎地域における持続可能な地域社会の形成と、地域資源を活用した地域活力の更なる向上の実現のために、総合的かつ計画的に施策を実施する必要があることから、「与謝野町過疎地域持続的発展市町村計画（令和3年度～7年度）」を策定しました。計画の詳細は、右記QRコードからご覧ください。



町公式HP

## 功績・功労をたたえて



受章された藤岡さん（写真中央、京都府提供）

**特用林産功労者表彰**  
藤岡静子（四辻）さんが、日本特用林産振興会から、第34回特用林産功労者表彰を受章されました。  
藤岡さんは、平成3年から菌床しいたけの生産に取り組み「肉厚で味が良く、日持ちする」と地元で人気があり、京都府生しいたけ品評会では京都府知事賞など数多く受賞されています。この度、30年に渡りしいたけ生産を通じた地域活性化や特用林産物の普及等、生産振興に果たした功績が認められ受章となりました。  
永年のご尽力に心から感謝申し上げます。

## 中学生が全国で活躍！

「全国大会での経験は一生の宝物です」と話してくれたのは村瀬雄星（江陽中3年）君。  
京都府代表として全国大会に初出場したのは、与謝野町・宮津市・京丹後市・伊根町の中学生が所属する中学軟式野球チーム「MYTベースボールクラブ」（部員45人、うち町内15人）。



MYTベースボールクラブの選手（同クラブ提供）

文部科学大臣杯  
第12回全日本少年春季軟式野球大会  
(9/19～22・静岡県)

### MYTベースボールクラブ



3月に開催予定だった本大会が新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、「開催されるか不安が増した中でも、個人での自主練習を通して気持ちを切りさすよくやってくれた」と岩城貴博監督。  
本大会前の京都府内の大会で優勝を果たし、最高のかたちで挑んだ1回戦は、緊迫する投手戦に、6回に2点を先制し、そのまま逃げ切り2対0で全国大会初勝利を手にしました。続く2回戦は、1回戦の勢いそのままに先制するも、後半勝ち越しれ1対2で惜しくも敗退。河嶋洋文代表は「チームを立ち上げて10年、初めて子どもたちに全国大会の景色を見ることができた。子どもたちは最後の最後まで諦めることなく一生懸命に戦ってくれた」と大会を振り返ります。  
選手たちは「全国大会で1勝をあげられたのは保護者の方や指導者の方、地域の方のご協力があったからだと思います。これからも感謝を忘れず野球を続けていきたいです」と語ってくれました。

8月の京都府予選会を通過し手にした全国大会出場。「支えてくれた方に感謝の気持ちを込めて全力で走ります」と大会前に意気込みを話してくれた小池君。大会当日は、中盤600mまで先頭に付いていきましたが惜しくも予選敗退。「前半から早いペースで積極的なレースができたが、目標の自己ベストを更新することができず悔しい」と大会を振り返ります。今後は「自分が楽しんでできることを高校でも続けていきたいです」と抱負を話してくれました。



JOCジュニアオリンピックカップ  
第52回U16陸上競技大会  
1000m出場(10/22・愛媛県)

こいけ せんじゅう  
**小池 千樹 君**  
(江陽中3年)

